

## 令和4年度第1回 健康づくり推進協議会議事概要

開催日時	令和4年8月25日 木曜日 15:00~17:00
会場	沖縄産業支援センター
出席評議員	青木委員、安里委員、笠原委員、嘉手納委員、崎原委員、崎間委員、中村委員、根間委員、宮里委員、盛本委員、山代委員（五十音順）
議題	
議事概要 (主な意見等)	<p><b>【報告事項】</b></p> <p>(1) 健康づくり推進協議会設置要綱の改定について</p> <p>(2) 令和3年度事業結果及び令和4年度取組状況等について</p> <p>(3) 5者協定に関する取組について</p> <p>(4) その他</p> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <p><b><u>(1) 健康づくり推進協議会設置要綱の改定について</u></b></p> <p>事務局より説明</p> <p>意見等なし</p> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <p><b><u>(2) 令和3年度事業結果及び令和4年度取組状況等について</u></b></p> <p>事務局より説明</p> <p><b>【学識経験者】</b></p> <p>健診受診率、特定保健指導実施率ともに全国平均を上回っており、重症化予防事業の二次勧奨受診率も全国3位であることを見ると、協会けんぽ沖縄支部が頑張っているというエビデンスになると思う。ただ、沖縄県は定期健診の有所見率が10年連続でワースト1位という状況であり、重症化予防事業の一次勧奨後受診率が全国36位であることを見ると、健診受診率はある程度上がっているが、その後の加入者の健康行動には繋がっていない現状であると解釈できる。今後は、「資料1 (P2)」に「肥満の要因」として記載されている「夜型社会」「身体活動量が低い(車社会)」「外食産業が盛ん」等に対して、ICT等を活用した何らかのアプローチが必要。</p>

**【学識経験者】**

資料 1 (P23) の「健康経営宣言事業所を対象とした禁煙支援・受動喫煙防止促進事業（新規事業）」については沖縄支部独自の事業か。

**【事務局】**

沖縄支部独自の事業です。

**【学識経験者】**

素晴らしい事業だと思う。重症化予防事業の対象者等についてもタバコが原因となっていることが多いので、そこも含めて取り組んでいただきたい。また、データヘルス計画の中間評価結果（令和元年度末時点）については、計画当初の数値よりもむしろ悪くなっているとの報告であったが、「考察」に書かれているとおり、健診受診者は増えているが、その後の保健指導にあまり繋がっていないということが原因ではないかと思われる。

**【学識経験者】**

健診受診後に病院を受診し、血圧、糖尿、コレステロール等、生活習慣病に関する薬の処方箋を交付され、薬局でお薬をもらった方が、2 回目以降どれくらいの割合で受診されるのかを薬局で調査したところ、40%に満たないという結果が出た。これは、薬剤師が最初にきちんと説明できていなかったことが原因であると考えられたため、「2 回目以降も継続して来るように」と説明をしたところ、80%までリターン率が上がったという実績がある。これを 1 年間継続して行ったところ、先月、糖尿病の患者については 100%のリターン率に繋がった。薬を途中で中断した場合、重症化してから戻ってくることが多いため、今後も薬剤師会としては、初めてお薬をもらう方に対し、責任を持って説明をしていきたいと考えている。

**【事業主代表】**

個人的な感想になるが、「沖縄の人」の行動を表していると感じた。

**【事業主代表】**

経営者としての意見になるが、従業員の健康状態を把握し、適材適所に人を配置するためにも、被保険者の健診については、義務付けている。ただし、被扶養者の健診については、子供の世話、普段病院に行っているから、面倒だから、という理由で行けないという声を多く聞いている。家族が健診の日には従業員に有給を取らせて、その従業員が子供の面倒を見るといった工夫も必要ではないかと感じた。また、先ほどの薬の中断の話について、私自身も血圧の薬を飲んでいるが、病院での時間がかかりすぎることや、コロナの検査等で駐車場が満車のときもあり、1 か月薬をもらわなかったことがある。働いている人は時間がないため、少しでも早くお薬がもらえるような仕組みができてほしい。

**【医師会代表】**

すべての診療に対してではないが、オンライン診療というのが解禁されている。高血圧のような生活習慣病であればクリニックによっては対象となるため看護師に相談してみるとよい。

**【健保委員代表】**

先ほどより、「健診受診率は上がってきているが、その後の保健指導による改善が十分でない」との説明がされており、今後の取り組みとして「Web面談」や「被扶養者への来所訪問」を予定していると資料1 (P3) に記載されているが、具体的にはどのように行うのか。

**【事務局】**

P3 に記載しているのは令和2年度の間評価時点での内容であるため、「今後の取り組み」として記載しているものの中にはすでにスタートして1年経過しているものもある。特定保健指導については、現在、すべての対象者にアプローチできていない、もしくは、案内さえ届いていない対象者もいるといった状況のため、外部委託による保健指導の拡大をすすめると同時に、直営の保健師・管理栄養士がいかに効率的に実施できるかを考えている。コロナ禍で、事業所からも「Web面談」での実施に対する需要が高まったこともあり、離島や僻地の事業所に対しては「Web面談」での案内を中心に行った。また、資料にも記載しているとおり、被扶養者の保健指導実施率が伸び悩んでいる。被扶養者には直接お会いする機会や連絡を取る手段もないため、保健指導の勧奨が文書での通知のみになる。まだ具体策が決定していないため資料には記載していないが、たとえば骨密度測定など興味を惹くような項目を盛り込み、案内することも検討中。

**【その他代表】**

コロナ禍で健診受診率等下がっていたものが改善しているのを見てとれたため良かったと思う。保健指導については、栄養士会においても令和2年度のイベント会場等での実施がほぼすべて中止となったため、Webによる保健指導の案内も行った。だが、機器の準備等ハードルが高いとの声も多く、難しいと感じた。また、動画等を作成しようにもスキルがなく、専門の業者に頼むとかなりのお金がかかるという状況。今回の説明を聞いて、まちかど健診（ショッピングセンターでの健診）はすごく効果があることがわかったため、栄養士会としても何か協力していきたいと考えている。資料1のP6に「早朝・ナイト健診を実施した」と記載されているが、詳細について教えていただきたい。

**【事務局】**

ナイト健診については、北谷町が実施しているものに共催という形で参加し、勧奨文書等を発送した。結果、協会けんぽ加入の受診者は2人で、北谷町国保加入者についてもとても少なかったようなので、今年度の実施方法等については検討することとしている。ナイト健診の実施時間については、17時30分～19時30分受付で実施している。早朝健診については、浦添総合病院の健診センター施設内で、朝7時15分～7時45分の間で受付しており、浦添総合病院健診センター近隣の市町村に案内を送付している。

<報告事項>

(5) 5者協定に関する取組について

事務局より説明

**【行政代表】**

資料2のP1に協会けんぽ以外の事業場として「国保7」との記載があるが、これはどういう意味か。

**【事務局】**

国民健康保険に加入している個人事業場のことを指している。うちな一健康経営宣言では、「事業場単位」で申請可能としているため、個人事業場も宣言することができる。この7つの事業場はすべて北那覇法人会加入の事業場。

**【行政代表】**

被用者保険として協会けんぽや共済組合があり、その最後の受け皿が国保。仕事を退職した方や自営業の方、また、ご病気になられて退職された方も国保に加入するため、財政的に非常に厳しい。可能であれば、被用者保険加入中に病気を発見し、治療を済ませ、健康な状態で国保・後期高齢に加入する、というのが理想的。資料にあるとおり、20歳～64歳までの働き盛り世代のうちに病気を発見、治療し、健康になってから国保・後期高齢に加入するよう続けていけば、目標の平均寿命日本一復活も実現できると思う。

**【行政代表】**

今回、県の土木建築部より、うちな一健康経営宣言実施が令和5・6年度の入札加点対象となることが発表された。このことが健康経営の推進に寄与するものと思われるが、宣言するだけでなく、そのあとのフォローも実施していくよう考えないといけない。また、推進団体宣言についても同様で、推進団体へのフォローも十分に実施することで、うちな一健康経営宣言の推進を図りたい。引き続き、5者で連携し、こういった取り組みができるのか等検討していきたい。

**【行政代表】**

まず、特定健診の受診向上や県民の健康づくりに関することに真摯に取り組んでいる協会けんぽにはあらためて敬意を表したい。県内の労働者における定期健診有所見率についてはずっと右肩上がりであり、令和3年度の結果についてはまだ出ていないが、おそらく引き続きワースト1位というのが現状。労働局としても様々な機会に、労働者の健康確保の有用性について説明をしているが、なかなか結果には結びつかない。昨年5者協定が締結され、県民の健康改善という5者共通の目標があるため、それぞれの機関が持っているツールを共有し、協力しながらすすめることが重要。引き続き労働局も、うちな一健康経営宣言事業を推進し、健康意識を持つ裾野を広げていくことを目標に、5者で連携していきたいと考えている。

機密性 2

特 記 事 項	
---------	--

• 傍聴者：琉球新報記者 1 名
------------------